

2024年度「卒業研究」

東京経済大学コミュニケーション学部山田晴通ゼミ

平田 莉子 「アイドルの応援から生まれるアイドルの魅力とファン同士のつながり」

要旨

昨年のゼミ論文ではアイドルの応援意欲についての調査を行い、実際にSKE48のファンの方に話を聞きながら調査を行った。しかし昨年の調査では回答の分量にばらつきが出てしまい全員に同じ質問を行うことができなかった。そのため、今回の研究では全員に同等の質問を行うこと、ファン同士のつながりがどのようなにつながったのかについて調査を行った。またつながりが増えたことでのSNS 上での関わり、直接のやり取りなどを通してどのようなやり取りをすることが多いのか、実際に応援をきっかけにアイドルの魅力とは何かを調査の目的とする。

研究を行う上でSKE48 を応援するファンに現状の応援についてとファンとの関わりについて私自身が実際にイベントに参加しファンに直接インタビューを行い口頭で調査した。インタビューでは同じアイドルグループを応援する者同士として親近感が芽生え、アイドルのイベント開催がなくてもファン同士での交流も活発に行われているというファンが多いことが明確となった。

次に、ファン同士の関わりを行う上での直接的な交流とSNS 上での関わりについてまとめた。SNS でファンが使用するツールとしてはX（旧Twitter）、Instagram、LINE が主な交流場所となっている。Instagram とLINE は私的で事務連絡として使われることが多く、特に親しい者との交流がメインとなり、つながり自体は狭く深くなっている。

X（旧Twitter）では、応援するメンバーへの返信、トレードの希望、イベント参加の報告、御礼の投稿が主に上げられている。ファンと広くつながるためには適したSNS となっている。また、ファン同士での会話の交流場として『スペース』の機能を活用し通話のようにしてコミュニケーションを取ることも増えている。また、一眼レフを活用して撮影可能イベント時に撮影された写真をメンバーのハッシュタグをつけてメンバー自身に届くように投稿するファンも多くなってきていることを記した。

ここまではファンについてまとめていたが自分自身が行う応援について一度原点に立ち返りまとめを行った。応援歴も長くここまで応援できているのは何か理由があるのではないかと考え、私が応援を始めた2013年から2024年までのアイドルの応援についての詳細を記した。一度応援を離れた時期もあったが、元々好きなアイドルグループであったことと過去に熱く応援している時期があったことで今の応援へとつながっているのである。

最後に自分自身が応援を始めたころのSKE48のファンと今のSKE48のファンでは何が違うのかについて研究を通し考察を行った。以前まではグループ全体を応援する『箱推し』が多く見受けられていたが、現状はチームごとを応援する傾向にあることが挙げられた。そのため、同じチームを応援する者同士での結束が生まれ交友関係につながっていることが推測できた。実際に私自身も関わりをメインで行っているファンたちは同じチーム応援する同士であり、周りも同じ傾向にあった。同じチームを応援しあうことでグッズなどの手配などもしやすくなる。チームごとでのファンが多くあることからグループ内での企画もチーム戦がメインになっておりグループ全体好きという者は10年前よりも少なくなってきた。以前よりはSNSの発展もあり関わりが持てる場所は増えていても新規獲得は困難になってきていることも確かである。

調査の結果から、最初はアイドル自身をテレビやSNSを通して知り、会いに行くことを目的にイベントに足を運ぶようになるが、ファン同士でも同じアイドルを応援する者同士で輪を広げ、アイドルに会いに行くことを目的にすることに加えファン同士に会いに行くことも同時に楽しむようになっていることが調査によって明確になった。

しかし、コミュニティの輪を広げ仲良くなる環境は増えていてもファンを増やすという部分ではまだ課題が多い。これからのSKE48の発展のために何ができるのかについてもファン自身が一体となり考え、行動していくことが私たちファンに求められている。